



図書館サポーター推薦

2013新着

ペリパトス文庫のおすすめ本

New Arrival Books for Peripatos

Recommended by Library Supporters

タイトル / 著者
所在 & 請求記号
推薦文

軍艦島全景 / オープロジェクト著
すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 219.3/G
軍艦島の通称で知られている長崎県端島の解説付き写真集。一時期は東京以上の人口密度を有したが、炭鉱の閉山により現在は無人島となっている。詳しい地図とともにたっぷり楽しめる作品です。

中谷宇吉郎の森羅万象帖
すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 289.1/N
科学者中谷宇吉郎の軌跡が豊富な図版とともに紹介されています。簡易な拡大鏡が付属されているなど遊び心があふれています。また、彼の科学に対する姿勢は参考になることでしょう。

そらみみ植物園 / 西畠清順文 ; そらみみ工房画
すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 470.4/N
世界にある不思議な植物たちを、絵とおもしろいストーリーで語った1冊!おそるべき才能を持った植物や、記録より記憶に残る植物などがのっています。これを読めば、植物の魅力に虜になるかも。

おつかれっ!毎日パンダ / 高氏貴博著
すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 489.5/Ta
上野公園のパンダの日常をまるごと記録。人に見られていない姿や隠れ芸が数多く披露されています。パンダのかわいい姿にとっても癒されます。

家メシ道場 / 給食系男子 [著]
すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 596/Ky
この本では、百円で簡単に作れる料理を数十品紹介しています。炊飯器でのご飯のおいしい炊き方、余らせやすい卵の使い回しレシピ、余った食材の保存方法がまとめて載っています。一人暮らしを始めようとする人に最適です!

一生に一度は行きたい世界遺産絶景 111 : 世界遺産発足 40 周年

すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 709/I

絶景をテーマに世界遺産が見事な写真とともに解説されています。有名な場所から聞きなれない場所まで 111 ヲ所の世界遺産が紹介されています。きっと行ってみたいところがいくつも見つかるでしょう。

決定版日本の世界遺産 : 祝!世界遺産登録 20 周年。日本の魅力を再発見 / 三好和義全撮影

すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 709.1/M

2013 年 12 月、日本で初めての世界遺産登録から 20 周年を迎えました。この本は、「京都の美」、「歴史と文化」、「大自然」など幾つかの章に分かれていて、様々な視点から日本の美を描いています。自然と調和し、ともに生きる美しい環境を収録したこの一冊をぜひ!

花の国・虫の国 : 熊田千佳慕の理科系美術絵本 : 春 夏 / 熊田千佳慕著

すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 726.6/Ku

熊田千佳慕の細密で美しい昆虫と草花の本です。たった 1 本の鉛筆で描く、美しく繊細な花と虫の本です。日常的に見ることができものが描かれているので、この本を読んで周りの草花や昆虫に目を向けてみてください。

ピクトさんの本 / 内海慶一著

すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 727/U

ピクトさんとは非常口の案内表示で走っているあの人のことです。道路、駅、工事現場など各施設でピクトさんは体を張って危険を教えてくれています。ピクトさんの勇敢で気の毒な働きぶりを見てほしいです!

できる大人のモノの言い方大全 / 話題の達人倶楽部編

すずかけ台 : 2F-ペリパトス文庫 809.2/W

会議などの様々な場面で使える上手い言い回しが紹介されています。お気に入りのフレーズを探してみたいはいかがでしょうか。また、就活に役立つかもしれません。

自選谷川俊太郎詩集 / 谷川俊太郎 [著]

すずかけ台：2F-ペリパトス文庫 911.5/Ta

谷川俊太郎氏自身の気に入っている作品が詰まった詩集です。私はこの本で平仮名の美しさを再発見しました。あなたは何を見つけますか。

流れ星が消えないうちに / 橋本紡著

すずかけ台：2F-ペリパトス文庫 913.6/H

まず、きれいな表紙とタイトルに惹かれます。親友と恋人を亡くした二人が今を生きていく物語です。辛く悲しいことが起こっても、日常の中にある小さな幸せを見つけて生きていく二人に感動です。

教場 / 長岡弘樹著

すずかけ台：2F-ペリパトス文庫 913.6/N

警察学校を舞台にしたミステリー。「教場」とは警察学校におけるクラスのことを指します。過酷な警察学校での生徒達の成長を描いた物語でもあります。伏線と伏線が繋がっていく、一気に読める小説です。

小さいうち / 中島京子著

すずかけ台：2F-ペリパトス文庫 913.6/N

女性の目線から見た戦前と戦後の日常が描かれ、昭和の時代背景、感覚が臨場感よく繰り広げられています。地味なタイトルですが、最終章にその深意が語られていて、強く印象に残りました。映画版の上映とともに原作も楽しんでください。

虚貌 / 雫井脩介 [著]

すずかけ台：2F-ペリパトス文庫 913.6/Si/1, 913.6/Si/2

人にとって「顔」とは何か？「顔」に影響されるものとは何か？「復讐」と「顔貌」をキーワードに広げられたミステリー作品。推理小説以上に人間の心理を問いかけられ、ドラマのようなストーリー感が伝わってきます。